

イラク戦線の米国陸軍を WhatsUp® Goldが支援



組織:

- アメリカ合衆国陸軍中央司令部 (United States Army Central Command: CENTCOM) / 復興および人道支援事務局 (Office of Reconstruction and Humanitarian Assistance: ORHA)

業種:

- 国防

課題:

- 短時間でインストールでき、ネットワークの不具合の原因を素早く正確に特定できて、複雑で動的なネットワークポロジを扱えるネットワーク監視アプリケーションが必要

ソリューション:

- CENTCOMの指令下で、ORHAは、アプリケーション、サーバー、デバイス、ネットワーク・リソースを常時監視するために WhatsUp® Goldを選択

2003年4月のイラク侵攻時、サダム・フセイン政府陥落後の暫定政府の基礎を作るために、CENTCOMに配属された169人の民間人が米軍の保護のもとに派遣されました。派遣された民間人は、特殊なシステムおよびネットワークの専門家として特別に選ばれた人々で、彼らはユーフラテス川のほとりに立つフセインのラマダン宮殿（現在の米国大使館）に滞在しました。サテライト、テレコミュニケーション、ネットワークなどのシステムをサポートするために約20人の上級エンジニアがイラクに送り込まれました。

劣悪な環境下のシステム、障害も多発

イラク戦争が激化する中、民間のネットワーク技術者たちは政府運営の基盤生成のためにサテライト、ネットワークサーバー、電源装置などを設置しました。米国陸軍の移動式発電機から電力が供給されると、ネットワークは立ち上がり稼働し始めました。ですが、そのシステムは立派なものとは言えませんでした。光ファイバーワイヤとイーサネットケーブルがダクトテープで床に固定され、宮殿の爆破された窓の外に張り巡らされて、宮殿の中庭はあたたかも爆破されたスパゲッティ工場のようなものでした。

バグダッドの再配線工事期間中に IT ファースト・レスポnderとして配属されていた Dana Beausoleil 氏は当時を振り返って、「ネットワークケーブルは、壁、窓、クリスタルのシャンデリアから吊り下げられています。リレーボックス、スイッチ、ルーターが通路の真ん中に置かれ、そこから四方八方に枝分かれして大理石の円形階段を下り、サテライトと接続される階下のネットワーク制御室に達します。そこが外界との接点になります。」と話します。宮殿内では、床にテープで固定され、「この下にインターネット接続あり。」と注意書きされたケーブルの束の上をスタッフが歩きました。サーバー室の中は、冷房が故障してサーバーが約50°Cに達し、過熱の警告ライトがつきっぱなしでした。200ユーザーのために構築されたネットワークで2,000を超えるユーザーをサポートしなければならなかったため、過負荷の問題が生じ、信頼性の問題にも発展しました。

WhatsUp Gold の迅速性と利便性

アプリケーション、サーバー、デバイス、およびネットワーク・リソースを24時間監視する必要性は明らかでした。Beausoleil 氏は、「WhatsUp Gold は実績が証明されているテクノロジーです。私たちには、様々なエンジニアに広く受け入れられ、短時間で設定でき、めまぐるしく変わるネットワーク構成に容易に対処でき、使いやすく必要な情報を最大限レポートしてくれるシステムが必要でした。」と説明します。WhatsUp Gold が、どのような環境にあっても1時間程度で実装でき、ネットワーク・デバイスを数分で検出できるという事実は、イラクで作業する技術者には大変重要でした。

「停電が1日に20回以上発生したこともありました。私たちは WhatsUp Gold をインストールして、大理石の壁に42インチのプラズマテレビモニターを吊り下げ、ネットワーク状態を表示するようにしました。」と Beausoleil 氏は続けます。WhatsUp Gold のビジュアルマッピングで、画面上の複数のアイコンからネットワークを見ることができ、ネットワークが拡張されたときはドラッグアンドドロップ機能を使ってその場でマップを再構成することができました。



WhatsUp Gold が共同作戦で大役を果たす

中央司令部で重要な共同作戦を指揮するためにはネットワークを使う必要があり、複数の国の大使や将軍から米国軍と連合軍司令官までのすべての人々が、ネットワークに頼っていました。ネットワークが停止すれば、極めて広範囲に悪影響が及ぶ可能性があります。 「ドイツでサテライト・リンクがダウンしたり、メールサーバーが過熱したり、といった、1日のうちに何度も発生する様々な問題に対して、WhatsUp Gold は速やかに検出して警告し、過労でくたびれ果てていたITスタッフが迅速に対応するためのデータを提供してくれました。」とBeausoleil氏は誇らしげに語ります。

司令部にとって WhatsUp Gold を採用したことは起死回生の決断でした。導入前はITスタッフが故障の根本原因を手作業で診断せねばならず、1つのコアスイッチの故障がイラク政府を事実上3日間機能停止に陥らせたこともありました。Beausoleil氏は、「障害を起こしたネットワーク・コンポーネントを見つける唯一の方法は、ネットワーク全体をシャットダウンし、各コンポーネントを1つずつ再起動して再テストすることでした。すさまじく時間のかかる作業でした。」と説明します。WhatsUp Gold ではデバイスの依存関係を設定できるので、依存先からの警告が排除され、多数の連鎖的な従属警告に煩わされることなく、ずっと簡単に問題を診断できます。

「WhatsUp Gold の絶え間ないダメージコントロールは、イラク国内で唯一使用可能な民間ネットワークを失敗することなく監視し続けました。私たちがイラクでの仕事を成し遂げることができたのは、WhatsUp Goldのおかげです。」とBeausoleil氏は総括します。

「ドイツでサテライト・リンクがダウンしたり、メールサーバーが過熱したり、といった、1日のうちに何度も発生する様々な問題に対して、WhatsUp Gold は速やかに検出して警告し、過労でくたびれ果てていたITスタッフが迅速に対応するためのデータを提供してくれました。

私たちがイラクでの仕事を成し遂げることができたのは、WhatsUp Goldのおかげです。」

— Dana Beausoleil 氏
国防情報システムエージェンシー
(コントラクター)
コンピュータ相互運用性システム検査官

イプスイッチについて

イプスイッチのIT管理ソフトウェアは、複雑化するIT環境を中断させることなく運用するという重責を担うIT部門に、業務トランザクション、アプリケーション、インフラストラクチャを高い安全性でコントロールするためのツールを提供します。高機能で柔軟性に富み、簡単に試行できる大変使いやすいソフトウェアです。クラウド、仮想環境、ネットワーク環境での途切れないパフォーマンスでIT部門を支援します。世界100カ国以上でネットワーク、アプリケーション、サーバーを監視するために、そしてシステム、パートナー会社、顧客との間のファイル転送のために、世界中の多くのお客様から信頼を得ています。マサチューセッツ州の本社のほか、米国各地、ヨーロッパ、アジア、中南米に拠点があります。詳しくはホームページ <https://jp.ipswitch.com/> をご覧ください。

無料試用版をお試ください: <https://jp.ipswitch.com/forms/free-trials/whatsup-gold>